

三友工業が尼崎市に新社屋を建設 4月1日付けで本社・工場を移転

非常用発電設備の販売・設計・施工・保守を手がけている三友工業株式会社（大阪市淀川区、衣斐司郎社長、☎06-6392-5571）では、兵庫県尼崎市に建設中の「新社屋」へ、今年3月31日までに本社・工場を移転する。4月1日からは新社屋で業務をスタートする。

新社屋の住所は〒660-0805兵庫県尼崎市西長洲町1-1-45。JR尼崎駅から徒歩約10分。敷地面積約600坪。地上2階建て延べ床面積約720坪。

1階は1部2階への吹き抜けがある工場スペース。2階は発電機営業部・テクニカル営業部・機器営業部・工事部・品質管理部・総務部などが入居する本社スペースとなっている。



建設中の三友工業の新社屋



衣斐司郎社長

新工場では、出力1,500kWまでの発電設備を2台並列で運転試験が行える大型運転試験装置を導入する。また、最新の産業機械や加工機械を導入し、発電設備の加工から、発電設備用の周辺機器・部品の加工生産、設置工事用の資機材の加工生産まで、自社で「一貫生産」

に取り組む。

さらに、住宅メーカーが採用している、工場であらゆる加工を終え、現地で組み立てるだけの「プレハブ工法」を採用することで現場でのコストダウンを進め、きめ細かなサービスを提供していく。

それにより、新規市場を創造し、新規顧客を獲得したい考えだ。中でもお客様から引き合いが多いというアメリカのコラー社製LPガス仕様の「非常用ガス発電装置」（定格出力20kVA～400kVA）を、今後、新工場で仕様検査、試運転、調整、点検整備を行い、販売拡大に注力していく。

衣斐社長の説明によると、同社は4月1日付けで決算が「47期目」を迎えるのを機に新たな経営方針「ビジョン50（V50）」を策定した。V50では、企業理念として、「品質管理の徹底」「技術の向上」「サービスの創造」の3つを掲げ、3つを実現することで停電の無い安心な社会を創造する。また、社是として、「（社員一同）幸せになる為に働いている。その原点を忘れない」と謳っている。

第91回自家発電設備認証委員会12月9日承認分

更新審査

申請者等	対象品目	認証番号	登録形式	有効期限
デンヨー(株)	可搬形発電設備	R-D-14	2形式	H32.12.18
(株)やまびこ	防災用自家発電装置	B-D-204	4形式	H32.12.18
	可搬形発電設備	R-D-204	2形式	
三菱電機(株)	防災用自家発電装置	B-D-22	33形式	H32.11.6
		B-T-22	9形式	

サーベイランス

申請者等	対象品目	認証番号	登録形式	有効期限
デンヨー(株)	防災用自家発電装置	B-D-14	31形式	H31.9.5
		B-C-14	3形式	
(株)日立パワーソリューションズ	防災用自家発電装置	B-D-128	16形式	H30.6.23
三菱電機(株)	常用防災兼用発電装置	K-D-22	3形式	H30.2.24
ヤンマーエネルギーシステム(株)	防災用自家発電装置	B-D-111	32形式	H30.8.31
		K-D-111	6形式	
	常用防災兼用発電装置	K-C-111	5形式	
オーハツ(株)	防災用自家発電装置	B-D-34	8形式	H30.12.21
タイセイ電機(株)	防災用自家発電装置	B-D-44	11形式	H31.2.28
(株)アルティア	非常動力装置	H-D-47	3形式	H31.9.5